

ファン続々「聖地」活況

大ヒット映画「君の名は。」の舞台になった岐阜県飛騨市が盛り上がり上がっている。市内に映画館がないことから実現した市民向けの上映会では2千人分のチケットが1時間半ほどで完売した。作品に登場した場所を訪れる「聖地巡礼」の勢いも止まらない。ブームに沸く現地を訪ねた。

(文化部・藤木優里)

映画「君の名は。」の舞台・飛騨市

今月6日、上映会場となった飛騨市文化交流センターのホールが人で埋め尽くされた。「ロケで何度か訪れていましたが、まさか飛騨市に映画館がないとは思っていませんでした」。本編に先立ち、新海誠監督からのビデオレターが流れると会場から笑いが起こった。

古里の風景に感動

劇場公開中の作品の上映会は異例。市が配給元の東宝に要望

市民向け上映会 完売

「君の名は。」は東京に住む男の子と、飛騨市にある架空の町で生活する女の子が夢の中で入れ替わるつちに引かれ合っストーリー。8月の公開から現在

して実現した。会場は全席自由で、いい場所を取ろうと、朝から大勢の人が列を作って並んでいた。早い人は上映3時間前に

到着したという。岐阜県内を中心に17社のマスコミが詰め掛け、注目度の高さを実感した。上映会に参加した会社員の山

崎功司さん(43)は「地元が出てきたシーンでは、客席がざわざわして盛り上がりがあった」とうれしそう。同世代の友人と来た

「並んだのにチケットを買えなかった」という声も多く寄せられたため、12月に再度上映会を開くことになった。

劇中の酒 再現し販売

市内中心部にある渡辺酒造店では、ファンに楽しんでほしいと「聖地の酒」を再現し、販売している。作品に出てくる酒とそっくり作ったところ、完成度の高さから新海監督がツイッターでつぶやき、ファンからの注文が殺到。初日はインターネットだけで800本売れたという。現在は生産が追いつかず1カ月待ちの状態。渡邊隆専務(42)は「聖地の酒を買うために外国から来たファンもいる」と言う。

巡礼の若者増える

市内では、作中に出てくる場所を訪れるファンが後を絶たない。図書館や神社、バス停などモデルとなった「聖地」を巡ると、カメラを構えた若者がたくさん歩いている。

JR飛騨古川駅では、大勢の人が陸橋から窓越しに線路を眺めていた。映画と同じシーンを撮ることができると人気スポットの一つだ。京都から日帰りて来た塩見栄孝さん(38)は「聖地巡礼は初めて。いい写真が撮れた」と満足そうだった。

映画に登場するアイテムを再現したり、イベントを企画したりする動きも相次いでいる。地元商工会が運営する「飛騨古川

地域の魅力を知ってもらおうと、市は新たに、写真を撮りながら聖地を巡るフォトラリーを企画した。市観光課の横山理恵さん(37)は「要望が多い散策マップなど、多くの人が訪れる仕掛けを作りたい」と張り切っている。



豊かな自然を満喫しよう！
岐阜県飛騨市は「君の名は。」を応援しています。
飛騨市が製作した応援ポスター。聖地や周辺の住宅などさまざまなところに掲示されている。©2016「君の名は。」製作委員会

④飛騨市民を対象にした上映会。チケットがすぐ売り切れたため、12月にも開催することが決まった。⑤6日、飛騨市文化交流センター。⑥パネル展や組みもの製作体験に大勢のファンが訪れている。飛騨古川さくら物産館